

あおぞら

2014

1月号

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

今月の TOPICS

- 「エコノミークラス症候群の話」
- 「下肢静脈エコー検査」

麻酔科部長 横山 俊郎
検査科 小池 俊行



- 内科:**(一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)
- 外科:**(一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)
- 小児科:**(一般・感染症・アレルギー・予防接種・育児相談)
- 整形外科:**(一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)
- 眼科:**(一般・白内障・網膜剥離・緑内障)
- 泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来
- 形成外科・脳神経外科

医療法人社団七仁会
田園調布中央病院
〒145-0071



東京都大田区田園調布 2-43-1
TEL:03(3721)7121
田園調布中央病院ホームページ
<http://denenchofu-hp.jp/>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

病院理念

支える医療を実践する

基本方針

- ・救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- ・地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- ・疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。

●エコノミークラス症候群の話



麻酔科部長 横山 俊郎

飛行機で長時間旅行したあと、飛行機を降りて歩き始めたとき、急に呼吸困難やショックを起こし、ときには亡くなることもある。これが「エコノミークラス症候群」と呼ばれる病気の典型的なケースです。最近テレビや新聞などで、これまで健康だった人が突然死を起こす病気の一つとして時々取り上げられていますので、この病気の名前を聞いたことがある方も多いと思います。ところで、医学的に足や下腹部の静脈に血栓ができる病気は「深部静脈血栓症」、この血栓が肺に飛んで肺の血管を詰めてしまう病気には「急性肺血栓塞栓症」という病名がついています。この「深部静脈血栓症」と「急性肺血栓塞栓症」は、一つの病気の異なった二つの側面を見ているだけですので、最近ではまとめて「静脈血栓塞栓症」と呼ぶことも多くなっています。

「エコノミークラス症候群」は、長時間の飛行機旅行によって引き起こされた「急性肺血栓塞栓症」のことなので、**エコノミークラス症候群の予防法は(1)航空機で長時間の旅行中、十分な水分を摂取する一方、脱水を招くアルコールやコーヒーを控えること(2)足を上下に動かすなど適度な運動を行うこと、とされています。**席から出にくく、トイレに立つのもおっくうになりやすい窓側より、すぐに立って歩ける通路側の席にするのも予防のこつです。現在、医療の現場で急性肺血栓塞栓症について一番問題となっているのは、手術やカテーテルなど医療行為に関連して発症する急性肺血栓塞栓症をいかに予防するか、ということです。日本での術後の急性肺血栓塞栓症の発症頻度は、調査によっていろいろですが、全手術例の0.03~0.09%程度とされ、産科や整形外科手術で比較的多い傾向がみられます。また術後の急性肺血栓塞栓症は死亡率が高い(30%程度)とされています。そこで最近、けし、それに応じた治療法を選択する「予防ガイドライン」が発表されました。これから手術を受ける方は、担当医とよく相談してどのような対策を行うか決めることが重要となってきました。急性肺血栓塞栓症予定される手術内容と患者さんの持つ危険因子を総合して、静脈血栓塞栓症が生じる可能性をランク付け、飛行機中で血栓ができるエコノミークラス症候群がよく知られてきましたが、実は地上でも、とくに医療の場でも起こりうるということがわかってきました。いったん起こると怖い病気ですから、予防のための知識を一般の方も十分に心得ていただきたいものです。

手術にともなう静脈血栓塞栓症のリスクと予防法【肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症】予防ガイドライン-ダイジェスト版より

リスクレベル	一般外科・泌尿器科・婦人科	整形外科	産科
低リスク	60歳未満の非大手術 40歳未満の大手術	上肢の手術	正常分娩
中リスク	60歳以上あるいは危険因子のある非大手術 40歳以上あるいは危険因子のある大手術	脊椎手術 骨盤・下肢手術	帝王切開 (高リスク以外)
高リスク	40歳以上の癌手術	股関節全置換術 膝関節全置換術 股関節骨折手術	高齢肥満妊婦帝王切開 静脈血栓塞栓症の既往あるいは血栓性素因例の経膈分娩
最高リスク	静脈血栓塞栓症の既往あるいは血栓性素因のある大手術	高リスク+静脈血栓塞栓症の既往あるいは血栓性素因	静脈血栓塞栓症の既往あるいは血栓性素因例の帝王切開

★推奨予防法としてリスク別に(低)早期離床・積極的運動(中)弾性ストッキング・間欠的空気圧迫法(高)間欠的空気圧迫法・低用量未分画ヘパリン(最高)低用量未分画ヘパリンと間欠的空気圧迫法の併用などがあります。

● 下肢静脈エコー検査

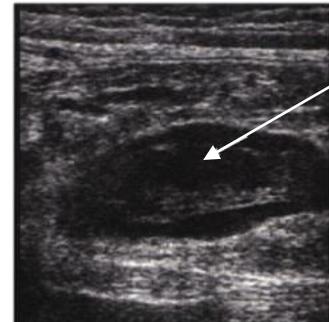
検査科 小池 俊行



下肢静脈エコー検査を知っていますか？

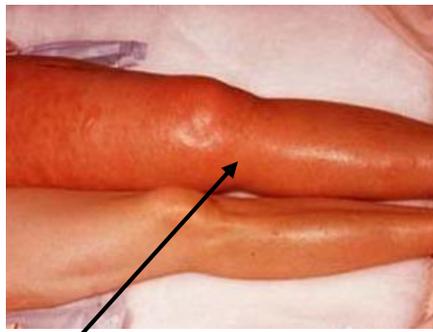
足の静脈に行く超音波検査です。近年注目され始め、簡単に検査が出来る為、行う施設が増えてきました。この下肢静脈エコー検査は、血管内に血の塊が無いのか、血液がちゃんと流れているかを見る検査で、主に深部静脈血栓症の診断の為に Rowe れます。

エコー画像



血栓

深部静脈血栓症とは、長時間足を動かさず同じ姿勢でいると、足の深部にある静脈に血の塊ができる病気です。エコノミークラス症候群という言葉を見た事があると思いますが、これも深部静脈血栓症により、引き起こされる病気の一つで、血の塊の一部が血流に乗って肺に流れて肺の血管を詰まらせる肺塞栓症という病気です。頭の血管を詰まらせれば脳梗塞になります。



【症状】

突然の片側下肢の腫れ、発赤、痛み、むくみ、だるさ、かゆみ、色素沈着など様々。

【予防法】

手術をうけて寝たきりの方、バスや飛行機での長旅をしている方は30分ごとに10回ほど足首を曲げたり伸ばしたり、ストレッチ運動をします。



【検査について】

検査時間は30～40分、ゼリーをつけてエコープローブをあてながら検査します。痛みなどはありません。当日検査可能な日もありますので、最近足が腫れた、むくんでいるような気がするなど、気になる方は是非一度、お気軽に検査してみてください。

クリスマス会開催



昨年、12月14日にクリスマス会を開催いたしました。
今回は少しでも多くの患者様に喜んでいただけるよう会場を前年の3階から1階待合室に移して行いました。
まずは各病棟に、サンタクロースが登場し、病院スタッフとともにクリスマスカードの配布を行いました。突然のサンタクロースに患者さん達は、感激し、抱きつく方もみられました。



病院スタッフ有志のクリスマスソングに合わせたリズムミクナタップダンス。手拍子に合わせ、会場のみんなで体をゆすったり、リズムをとったりしました。みんなの顔にも笑顔が見られていました。
次は、以前より当院で、ボランティア参加をお願いしている oh-by Tolly のクリスマスソングなどのコーラス。すきとおる伸びやかな歌声で、会場を包み込んでいきました。素晴らしい歌声に、声を合わせ、歌い、会場が一つになったようでした。見ている人に笑顔をくれる歌声にとても感謝しています。



クリスマス会が終了となると、「楽しかったわ」や、「とても良かった、こんなの初めて」と多くの患者さんや家族に声をかけて頂きました。
素敵な時間を共有できた事や、協力してくれたボランティアや病院スタッフに感謝をしたいと思います。ありがとうございました。



診療受付時間

受付時間：午前の部 8：00～12：00（小児科 11：30） 午後の部 8：00～16：30

診療時間：午前の部 9：00～ 午後の部 14：00～

面会時間：11：00～20：00

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合があります。

詳細につきましては、お気軽にお電話または受付までお問い合わせください。

◆ご面会は他の患者様に迷惑のかからないよう、面会時間をお守りください。